

令和2年度第2回契約監視委員会が、令和2年9月25日(金)、労働者健康安全機構会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

令和2年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第2回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和2年9月25日(金) 10:25~11:20 開催場所：独立行政法人 労働者健康安全機構会議室	
委員	委員 竹内啓博（公認会計士） 委員 田極春美（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員） 委員 山本 熟(慶應義塾大学商学部教授) 委員 東ヶ崎將（JILPT監事）（議事進行） 委員 小林伸行（JILPT監事（非常勤））	
審議対象期間	1. 令和2年4月1日～令和2年8月31日に契約締結された案件 2. 令和2年9月～令和3年3月に契約締結(予定)の案件	
1. 一般競争入札	18 件	
2. 競争性のない随意契約	15 件	
3. 一者応札・一者応募	1 件	
委員からの意見・質問、それに に対する回答等	意見・質問 下記のとおり	回答 下記のとおり
	意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。		
1. 一般競争入札案件 (令和2年4月1日～令和2年8月31日契約締結)	・一者応札・一者応募の1案件を除き、特段の意見は無し。	
2. 随意契約案件 (令和2年4月1日～令和2年8月31日契約締結)		
【案件1】		
資料1 ① No.14「アンケート調査『新型コロナウイルスの感染拡大が就労や生活に及ぼす影響に関するアンケート調査』実施に係るデータ作成等業務委託」及び②No.16「WEBアンケート調査『新型コロナウイルスの感染拡大が就労や生活に及ぼす影響に関するアンケート調査（8月調査）』実施に係る業務委託」について		
・両者の金額を比べると2回目の方が増えている。質問項目・新規対象者・分析が追加されたものかと思うが、金額の妥当性を示して頂きたい。 ・追跡調査の随意契約はやむを得ないが、第1回目調査の業者選定の際は慎重に対応頂きたい。	・これまでの調達案件における見積書の単価を比較して金額の妥当性を判断したところであり、設問の数も第1回目25問、第2回目42問と数量が増加している。	
【案件2】		
資料1 No.15「新型コロナウイルスの感染拡大等が企業に及ぼす影響に関するアンケート調査（WEB調査）実施に係るデータ作成等業務委託」について		

意見・質問	回答
<p>・競争相手として他に全国に支社・調査員を持つ業者があるはず。この業者しかなかったというには理由が乏しく、合理的の根拠に欠けると考える。</p> <p>・随意契約ならば、他社との交渉の結果、ここしか受けくれなかつた等、客観的に妥当性を示す必要がある。</p> <p>・研究上、この業者のデータを使いたいというニーズはある。普段からコミュニケーションがあり迅速に対応してくれるという無形のメリットがある。しかし、国民は公的資金を公正に使っているかの説明を求めている。公的資金を使っている意識を持ち、納得した上で随意契約にすることを業務の中に浸透させていくことが重要。</p>	<p>・ご指摘の通り、他社もあるので原課ともよく相談して慎重に対応したい。</p> <p>・ご指摘の通り、無形のメリットにとらわれず、規定に則って対応したい。</p>
<p>3. 一者応札・一者応募案件 (令和2年4月1日～令和2年8月31日契約締結)</p>	
<p>【案件1】</p>	
<p>資料2 No.10「令和2年度出版物・雑誌の梱包発送等業務の委託」について</p>	
<p>・国内発送と海外発送業務の別契約を検討するとのことだが、コストが上がるのではないか。</p> <p>・海外発送については必ずしも送らなければいけないものなのか。今の世の中の流れであり利便性の高い電子ジャーナル化を検討すれば印刷経費節減にもつながる。</p> <p>・入札参加資格にA等級も入れれば、海外発送も慣れているので応札するのでは。</p>	<p>・2年前迄はコスト削減を狙い、国内発送と海外発送を分けて契約していたが、コストとしては殆どが郵送料であり、それほど差がない。</p> <p>・海外発送については、まさに原課で印刷物を発送する効果について検証しており、印刷発行せずメールマガ的な電子版のみとすることも検討中である。</p> <p>・ご指摘の通り、入札参加資格にA等級を加えることを勘案したい。また、むしろ作業難易度もそう高くなないので、等級の低い方への拡充も行う。</p>
<p>4. 契約事前点検(令和2年9月～令和3年3月予定)</p>	<p>・特段の意見は無し。</p>